

親子聖書日課

NO.1526 2017.12/24-30 名前

[日]世間の人は、私達の立派な言葉ではなく、「立派な生活」「立派な行い」を見て、主をほめたたえます。「私もあなた様になりたい」と言われる人になりましょう。そのために、お心ではなく、御心(神中心)に生きる「神の僕として行動」しましょう。

[月]「無言の行い」にまさる証はありません。神を畏れ、夫に従うなら、夫も信仰に導かれることでしょう。但し、夫唱婦随ということではありません。夫婦は「命の恵みを共に受け継ぐ」人生のパートナーです。「尊敬」と助け合いが大切です。

[火]「心の中でキリストを主とあがめる」だけでなく、主を証することが大切です。主の救いの素晴らしさを「いつでも弁明できるように備えて」いれば、誰にでも語れます。よい準備が伝道の実を結びます。証となる生活に励みましょう。

[水]各自に違った賜物が与えられていることを知っていますか。多い少ないは問題ではありません。「その賜物を生かして互いに仕える」ことにどれだけ励んだかです。神の栄光のために賜物を最大限用いるなら、教会は祝されます。

[木]「主にお委ねします」と祈った後で、「どうしようか」と思い煩う人はいませんか。その時、主の約束を忘れてます。主は私達のことをいつも心にかけて、万事を益として下さいます。主を信頼しきって「何もかも神のお任せ」する人になりましょう。

[金]ペトロは偽預言者の出現を憂い、この手紙によって、信仰に堅く立つように励ましました。私達は絶えずサタンの攻撃を受けて、信仰から落ちる危険性があります。そこで聖書日課で御言葉を思い出し、信仰を奮起して、主の栄光を表しましょう。

[土]ペトロは主の変貌の姿を見たことを証しながら、「預言の言葉は一層確かなものとなっていますから留意して下さい」と勧めました。御言葉は不確かではありません。神の約束は実現します。自分勝手に解釈しないで、御言葉に聴従しましょう。



	聖書	問題	答え
日	I ペトロ 2:11-25	あなた方の何をよく見て、訪れの日に神をあがめるようになりますか	
月	3:1-7	妻の何によって信仰に導かれますか。	
火	3:8-22	いつも何ができるように備えるべきですか。	
水	4:1-19	その賜物を生かして、互いにどうすべきですか。	
木	5:1-14	思い煩いは、何もかも神にどうすべきですか。	
金	II ペトロ 1:1-15	あなた方にこれらの事をどうさせて奮起させるべきだと考えましたか。	
土	1:16-21	聖書の預言は何一つ、どのように解釈すべきではありませんか。	
	感想と祈りの課題		